

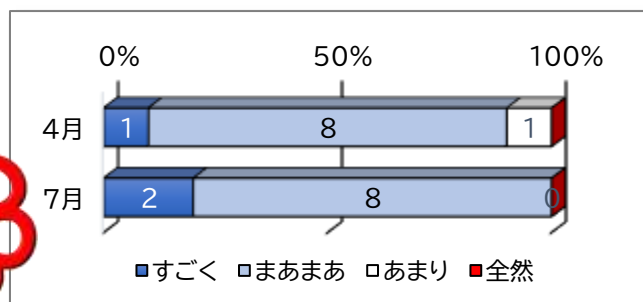
本校では、熊本県教育委員会が推奨している自校の学校運営(安心と信頼にあふれ高め合う学級づくりに向けた熊本の教師の心がけ 10 か条)のチェックを敵的に行っています。以下に 4 月と 7 月の結果について紹介します。

1 視点 1

児童同士のつながり (子どもと子ども)

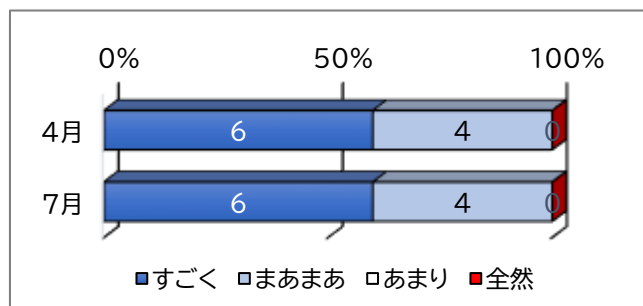
(1) まずはオープンマインド

ソーシャルスキルトレーニング等の手法を授業に取り入れ、子どもたちの笑顔が絶えない教室の雰囲気づくりに努めているか。



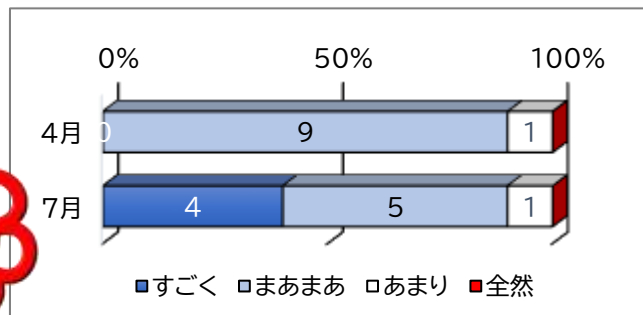
(2) みんなちがって、みんないい

子どもたちの失敗や間違いを認めたり、考えの違いを大切にしたりする授業づくりや言葉かけを意識しているか。



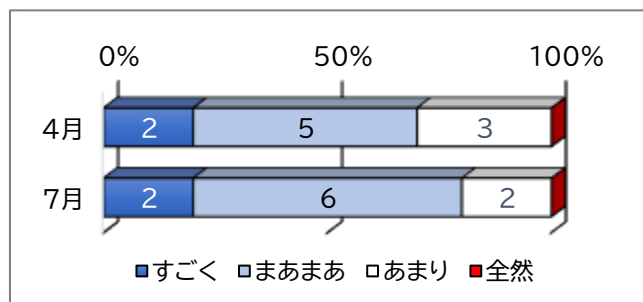
(3) 授業は全員参加・全員活躍

教材・教具や授業展開を工夫し、すべての子どもが学習活動に参加し活躍できるようにしているか。



(4) ハードルはチャンス

一人では解決困難な課題を与えているか。(教え合ったり、助け合ったりする必然性が生まれ、子ども同士のつながりが強固になる。)



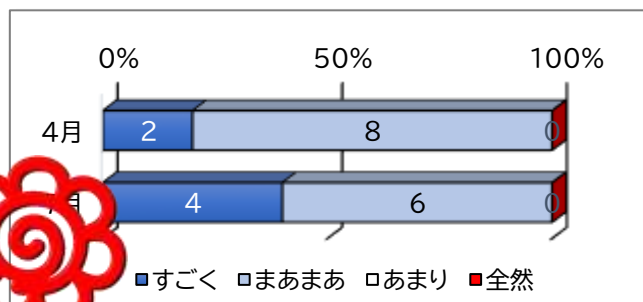
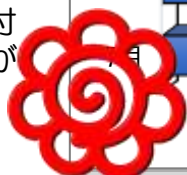
2 視点 2

教職員と児童のつながり

(教師と子ども)

(5) 子どもの「よさ」を見付ける

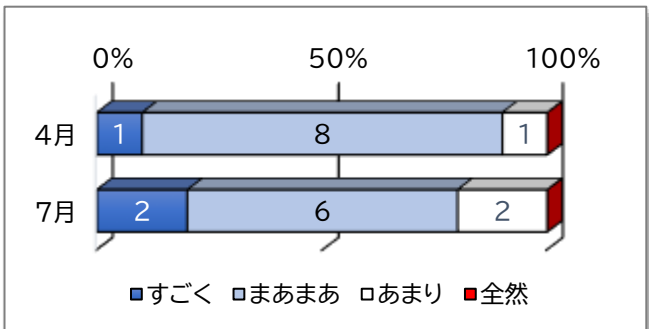
子ども一人一人の言動をよく観察し、一人一人のよさを様々な角度から見付けているか。(わずかな成長や、その子が



つながる教育・つなげよう実践 安心と信頼にあふれ高め合う学級づくりに向けた熊本の教師の心がけ 10 か条
もつよさに気付く目を養う。)

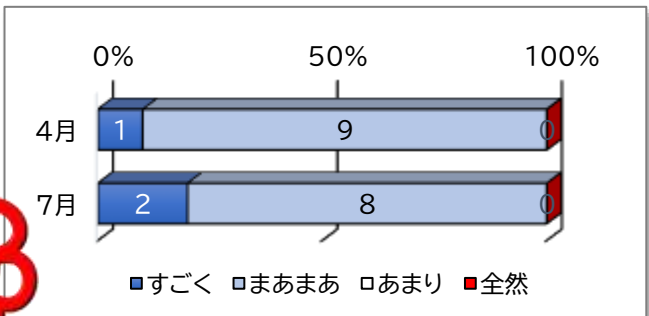
(6) **自ら示す「生き方モデル」**

子どもたちに指導したことと自身の言動に食い違いがないようにし、生き方で大事なことは、言葉だけでなく、自身の姿で語ることができるようにしているか。



(7) **評価はタイムリーに**

子ども一人一人のよさや頑張りを積極的に認め・ほめ、常に「見守っているよ」、「応援しているよ」という教師の気持ちが伝わるようにしているか。

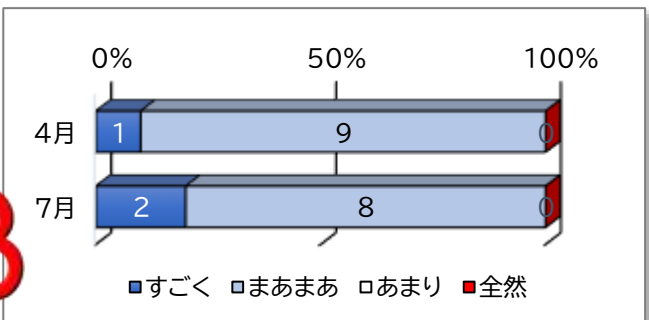


3 視点 3

組織体としての教職員同士のつながり
(教師と教師)

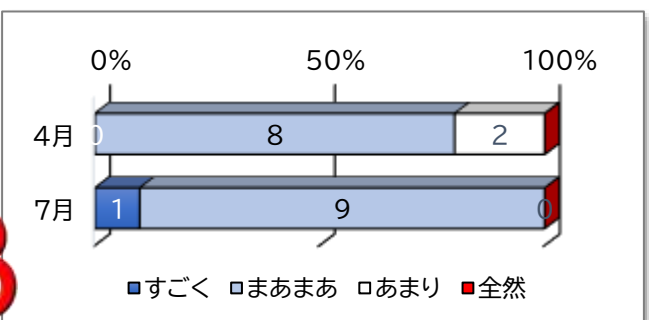
(8) **学校は組織体**

話し合って決めた指導内容は、みんなで意識をそろえて実践していますか。子どもたちへの指導は、担任一人ではなく全職員で一致した指導を行っているか。



(9) **風通しのよい職場**

授業の成功や失敗、学級づくりの悩み等を職員室で語り合っているか。(学営のヒントは、隣のクラスの実践から見付かる。)



4 視点 4

学校と家庭、地域・関係機関のつながり
(学校と家庭、地域・関係機関)

(10) **保護者・地域は子育てのパートナー**

「こうなってほしい」という願いや思いを共有し、それぞれにしかできないことを明確にし、互いに協働・連携して、熊本の未来を創る子供を育てているか。

